

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (廿日市市立平良小学校)

- ① 教科等 国語科 ② 学年 第6学年
- ③ 単元名 「持続可能な社会」への取り組みについて調べよう
「未来に生かす自然のエネルギー」
- ④ 単元の目標
 - エネルギー問題に関心をもって読み、必要な情報を得るために進んで複数の資料で調べようとする。(関・意・態)
 - ◎ 具体例の示し方や資料提示の意図を考え、筆者の意見を読み取ることができる。(読ウ)
 - ◎ 資料を活用し、自分の考えが伝わるように書くことができる。(書エ)
- ⑤ 単元の指導計画 (全11時間)

次	時	学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
一	1	初発の感想を交流し、リーフレット作りに向けて学習計画を立てる。	エネルギー問題について、資料の示し方や具体例の挙げ方を工夫してリーフレットにまとめ、他のクラスの友達と読み合うという課題・相手意識を持たせる。	エネルギー問題について課題意識を持って学習に取り組もうとしている。 (関・ノート)
二	1	文章構成をつかみ、提示されている話題を読み取る。	話題提示の文を見つけるために、中心語句や指示語、接続語などに着目させる。本論の「現状・課題・解決策」の流れを確認させる。	段落相互の関係を考えながら、「持続可能な社会」と「エネルギー問題」の関係について筆者の考えを読み取っている。 (読・ノート)
三	2	自分のリーフレットに生かしたい筆者の書き表し方の工夫を見つけるために、資料の示し方や具体例の挙げ方、文章表現等に注意して説明の内容を読み取る。	教材文とモデル文(資料提示のない文)を比較して読み、資料や具体例があることによって、意見が強調されたり説得力が増したりすることに気付かせる。	図やグラフを用いていることの意味や効果をとらえ、本論1・2で述べている筆者の考えを読み取る。 (読・ノート)
	3		筆者の主張に対して納得できるか、具体的に自分ができることは何かという二つの視点について、意見を持たせる。	文章全体の説明を踏まえて、筆者の主張について自分の考えをまとめている。 (読・ノート)
	4		リーフレットの例を提示し、正確な情報を得るためには、複数の資料を参照する必要があることに気付かせる。	課題を決め、意欲を持って調べようとしている。 (関・行動観察) 課題に沿って、必要な資料を集めている。 (書・ノート・行動観察)
2	複数の資料から必要な情報を読み取り、自分の考えをもつ。	・資料選択の際には、「読み手を納得させるもの」「自分の意見が強調されるもの」という視点を持たせる。 ・選んだ資料について補足説明を書かせる。	自分の考えを導くために必要な資料を選び、情報を正しく読み取っている。 (読・ノート)	
3	分かったこと(問題の現状・課題・解決策・意見)を、筆者の書き表し方の工夫を生かしてリーフレットにまとめる。	・現状・課題・解決策・意見の構成をもとに、事実と意見を区別して書かせる。 ・自分の考えが分かりやすく伝わるように、資料の提示の仕方を工夫したり具体例を取り入れさせたりする。	資料の示し方や具体例の挙げ方を工夫して、自分の意見が伝わるように工夫してまとめている。 (書・リーフレット)	
4	リーフレットを互いに読み合い、感想を伝え合う。	学習を通して、自分の考えの広がりや深まりについて感想を交流させる。	資料の活用の仕方や発信した自分の考えに対して、感想をまとめている。 (読・発言・ノート)	

言語活動の充実

設定した言語活動を通して育てたい力

- 資料提示の意図を考えたり、文章全体の構成をつかんだりしながら筆者の意見を読み取ることができる。
- 根拠となる資料を活用して、自分の考えが伝わるように書くことができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 教材文と、資料や具体例のない文章を比較して読むことによって資料の効果に気付かせる。
- 自分の意見や説明に合った資料を活用させるために、選んだ資料の補足説明を書くステップを設ける。